はるにれ

しんえい西自治会会報
令和8年　8月5日発行　第93号
配布部数：277部　総務部　東　厚志

私は職場で子どもたちと夢中になりました

モルック

しんえい西自治会館で10月にモルックの大会が開かれます。(ハルニレ会主催)　やってみて私はハマりました。職場の子どもハマりました。親子で参加してみませんか・・・。





北欧フィンランド発祥の、木の棒を投げて数字の書かれたピンを倒し、得点を競う投擲(とうてき)スポーツです。
道具: 数字(1～12)が書かれた木製のピン「スキットル」と、投げるための木の棒「モルック」を使います。
投げ方: モルックをアンダーハンド(下から)で投げます。
得点計算:1本だけ倒れた場合：倒れたスキットルに書かれた数字が得点
2本以上倒れた場合：倒れた「本数」が得点になります。
勝敗: 倒れたスキットルは、その場で再び立て直されます。
これを繰り返して、先にぴったり50点になったチームが勝利となりま
ただし、50点を超えてしまった場合は25点に減点されてゲームが続

年齢や性別、体力に関係なく、誰でも同じ条件で競い合える「ユニバーサルスポーツ」として人気を集めています。
ゲームが進むにつれてスキットルが遠くへ散らばるため、どのピンを狙うかといった戦術や、相手の得点を邪魔するような駆け引きが奥深いスポーツです。

天埜博士講演会「原子力発電の問題点」：そもそも原子力とは何か

日時、　9月27日　13:00～
場所、　しんえい西自治会館

内容、　私がまだ、小学生だった頃、原子力発電は夢の技術としてもてはやされ、あちこちの百貨店などで、展示会なども開催されたこともありました。将来、原子力関連の仕事をしようかと思ったこともありました。しかし、あれから半世紀以上経って、原子力発電は夢の技術どころか、さまざまな問題があることが露呈してきました。
原子力は従来の、力学的、電磁的、化学的エネルギーに比較して、桁違いに巨大なエネルギーを生み出します。原子力発電というのは、ウランの核分裂反応によって生じるエネルギーを利用した発電です。原子力発電とか原子爆弾と聞くと、これらは、何か、原子が関わっている現象を利用しているものというのは容易に想像できます。また、しばしば、核反応とか核エネルギーという言葉を聞きます。しかし、普通日常的に核とは何か、議論されることはほぼありません。この講演では、まず、原子そして核の話から始めます。
「燃料」であるウランは放射性元素です。放射性元素とはどんなものか、やさしく説明します。

9月12日「秋祭り」来てください。家に作品、眠ってませんか

9月12日(土)の、12:00～は秋祭り。雨天13日に延期。そこも雨なら中止です。たくさんの方が来てくれることを願っています。
ちょっと今、私の胸に温めていることがあります。いつできるかなどという具体的なめどはまったくたっていないのですが、「私には夢がある。」と、米国のキング牧師のように叫んでみたいのです・・。わが町内会館で、皆さんの作品を持ち寄って、展示会ができたらどんなに素晴らしいだろうと思うのです。小学生の皆さんは、今まで学校の図工の時間にたくさんの作品を生み出します。大人だって、写真や絵、焼き物や手芸、書道や工芸など、知られざる趣味をお持ちの方がたくさんおられるのではないかと思うのです。それを自治会館で展示して、みんなで感想のお手紙を出し合ったらいいなと、常々思っていたのです。ゆくゆくは、そこで、歌や楽器など音楽の発表会ができたら最高です。どうかご意見をお寄せください。

編集後記	なんだかさわやかな秋の気配・・・。まず思い浮かぶのは、私の大好物の柿。もう少しでスーパーに並ぶでしょうね・・・。裏庭の栗の木も実を落とし始めました。食べる事ばっかりが思い浮かび、私のお腹はなかなか引っ込みません。せっせと庭の草むしりをしたのですがその程度では焼け石に水。なんとか知恵の実りくらいは零れ落ちてくれと願う今日この頃です。